

RFL 関西実行委員会 2024 年 4 月 定例会 議事録【サマリ】

日 時：2024 年 4 月 14 日（日）13：00～17：30

場 所：芦屋市青少年センター 音楽室

出席者：渡邊、松浦（以上 2 名 ZOOM 参加）、JCS 郷州、川崎（初）、着能、明路、城村、金山、須天、高岡

JCS トレーニング参加：芦屋クリニックのぞみ 守山（初）、大西（初）、春名

進 行：須天 ・ 記 録：須天、高岡

～テーマ「RFLJ2024 芦屋」未来にむけての Road MAP from 2023～

1. 前回以降の経緯、報告、検討課題（議事録を参照）

- ・ 前回議事録によるふりかえり

2. Road MAP from 2023

(1) 前提となる会場レイアウト、タイムテーブル

- ・ 今年度の開催概要のイメージとして、前年のレイアウト、タイムテーブル、コンセプト図を説明、共通認識とし、これをベースに検討を進めるとともに、コスト縮減を検討していくことを再確認をした。

(2) スタッフ（2024 体制の目標は対前年+新メンバー4 名）

- ・ 新メンバーの川崎さんは、着能さんのお誘いで 2023 年度の会場に参加し今回定例会に初参加。
- ・ 体制については時間の都合により保留とした。

(3) 収入計画について

① 協賛広告費（対 2023 で+14 万円以上）⇒実施のための課題と進捗の確認

a) 2023 協賛先の個別訪問

- ・ 阪神南県民センターの担当者変更があった。今年度の助成金 15 万円入金予定となった。また 2024 年度申請も提出済みで、入金は 2024 年度の会計が締まった後の入金となる予定。
- ・ ユーハイム助成金は、申請済み。

b) JCR ファーマの重点取り込み

- ・ 4/12 に JCS 是澤、城村、須天で訪問（ナショナルスポンサーになってから初の対がん協会の訪問）。
- ・ 先方担当者からは協賛金をより多く協力できるようアドバイスをいただいた。
- ・ 会社でのランやウォークチーム参加、ルミナリエバックの協力をお願いしたところ前向きに検討する意向を示していただき、5 月下旬以降、専任の担当者と協議の上、社員の方々に RFL の主旨を説明する為、訪問する方向で検討をいただくこととなった。

c) 黄色いレシートキャンペーン 甲子園 店頭 PR（4 月、8 月各 11 日）

- ・ 立ち会うことでかなりの応募をいただくことができた。

d) 助成金「ノエビアグリーン財団」、「阪神南県民センター」「木口財団」

- ・ 長期的な取り組みとして「スポーツ振興くじ(TOTO)」ほか、各種助成金申請を検討することとした。

e) 市内企業 10 箇所のリスト化、訪問

- ・ 芦屋市内に財団と名の付く団体がいくつかあるのを確認した。積極的に訪問を実施する。
- ・ ピックアップしたイベント会社を訪問、茶屋さくら通り事業者会を紹介いただき PR を行うこととなった。

② 募金箱（回収効率を上げる）⇒実施のための課題と進捗の確認

- ・ 募金箱設置先のエリア別のリスト化と分担しての個別訪問について最新版を ML で報告し撤退や変更等の確認を早々に行い、エリア別に分担してお礼と挨拶に伺う。
- ・ 募金箱に貼るシールや募金箱の取り扱い、受渡しや報告方法など、募金箱設置先に訪問する際の手順書を作成する。（担当：城村）
- ・ これらの状況を SNS で積極的に配信することとしたが、RFL 芦屋 Instagram の再設定は完了している。熊谷による投稿が頻繁に行われ効果も感じられる。フォローやいいね、リポストで手分けして行う。

③ リレーウォーク参加を募るために（目標有料来場者 482 名、対 2023 年+220 名）

- ・ 高島市長へのコメント依頼（収録）について 5 月 7 日 17 時に訪問しお願いとコメント収録等を行う。（城村、須天）
- ・ 過去参加者への直筆お手紙（近況伺い、返信はがき入り）については、県立芦屋高校書道部協力依頼を行い、5 月 6 月に重点的な取り組みを行う。
- ・ 市立芦屋病院公開講座（毎月開催）について、芦屋ルナホールでの公開講座に合わせてチラシ配布予定。チラシについてネーミングライツを反映したものを用意する。

④キャンドル・ランを募るために(目標有料来場者 482 名、対 2023 年+220 名)

- ・遅くとも5月からの募集開始 or ランナースケジュールを考慮した先行エントリーを検討しているが、先行募集のメリットとして、参加人数の早めの把握により収益の把握ができ、自動計測機の実施を検討する材料となることから、先行エントリーを実施することをあらためて確認した
- ・先行エントリーについての募集案内を早急に作成(須天)、MLで内容についての確認を行い、HP、SNSを連動して募集開始を早急に行う。
- ・過去参加者への告知案内(参加意向アンケートなど)について参加者へメールに告知案内を行う。また、今後RFL芦屋からのメールが不要な場合の一文を付け加えておく。
- ・参加賞については、次回以降に検討する。
- ・自動計測について、実施するか否かについては、参加見込み人数に影響する為、募集要項を早急に整える。
- ・募集案内に一定人数に達した時点で自動計測の有無を決定する方向で募集を早急に開始する。
- ・スポーツフォトコンテストに応募(スポーツ協会)する県については今回は締め切りに間みあわず見送った。

⑤Tシャツ等オリジナルグッズ収入を増やすために(目標 393,200 円、対 2023 年+10 万)

- ・ロゴ案については3月に作成済みであり、グッズラインアップ案を4月に検討する予定であったが、次回に延期とする。
- ・早々に検討する必要がある、熊谷さんを中心に、城村、須天、高岡でSNSグループを作り検討する。
- ・グッズについては事前販売することを前提とする。

(4) 支出計画について

①会場施設借用料

- ・会場借用料の圧縮については、会場担当者に相談し、親会社へに協賛金として協力いただけないか依頼する。

②会場設営費

- ・電気関係の削減、蛍光灯を廃止、以前よりコストダウンを図った検討をし、見積もりを依頼、二度やりとりしているが、まだ十分な内容となっていない。4月中旬に再度面談の上、早急に検討を進める。

③ ステージ費用

- ・ステージを小さくした場合のコストダウン策を検討。ステージ上のレッドカーペットについてはソニー生命の過去使用分を譲渡してもらうことを依頼しているが、保管方法は課題となる。
- ・ステージ下の腰布は、サバイバーフラッグや使用しなかったフラッグに芦屋高校に演出して使う、さをり織の布などを使用する案が提案された。
- ・引き続き、コスト縮減案を検討する。

④自動計測について

- ・例年お願いしている業者に可能な限りのコスト圧縮で見積もりをお願いしたところ25万円の見積もりをもらい、その場合の前提についても説明があった。
- ・エントリーを促進させる為に自動計測がある方が良いとの意見だが、一定の人数に達しない場合は行わない方向で募集要項の作成を進める。
- ・事前エントリー者が自動計測有無でキャンセルする場合は、Tシャツをプレゼントする旨を事前エントリーの募集案内で告知する。受渡方法は要相談とする。

3. 対がん協会によるトレーニング 15:30~

4. その他 17:00~

(1) スケジュール 次回定例会 5月12日(日) 13時~

(2) その他

- ・芦屋市役所人事異動➡芦屋市水道局の部長、選挙管理委員会の担当が退職等で移動あり。
- ・5月7日(月)芦屋市長(高島市長)と面会予定。動画撮影を依頼。動画の使用について確認しておく。

以上